病床確保計画（確保病床に位置付けられた旧臨時の医療施設・入院待機施設の定員数を含む）

令和5年5月12日公表
（9月6日修正）

都道府県名	フェーズ１			フェーズ２				フェーズ３				フェーズ４				フェーズ5				フェーズ6			
	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け
	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分
01 北海道	1,680	72	1,116	フェーズ１の病床使用率が40%を超えた段階で、地域の感染状況等を踏まえて判断（原則、三次医療圏毎に運用）	1,810	75	1,207	フェーズ２の病床使用率が40%を超えた段階で、地域の感染状況等を踏まえて判断（原則、三次医療圏毎に運用）	2,006	86	1,336												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
02 青森県	270	12	129	感染者の漸増 1週間当たりの1定点当たりの陽性者数により判断する	300	12	148	感染者の急増 1週間当たりの1定点当たりの陽性者数により判断する	330	12	162	爆発的な感染拡大 1週間当たりの1定点当たりの陽性者数により判断する	360	12	183	爆発的な感染拡大 1週間当たりの1定点当たりの陽性者数により判断する	390	15	197				
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0				
03 岩手県	241	28	122	即応病床使用数が概ね200床を越えた場合	373	45	193																
	0	0	0		0	0	0																
04 宮城県	217	12	111	フェーズ１の病床占有率が５０％を超えた段階で，病院長等会議を緊急に開催の上，総合的に判断	238	14	124	フェーズ２の病床占有率が５０％を超えた段階で，病院長等会議を緊急に開催の上，総合的に判断	263	16	127	フェーズ３の病床占有率が５０％を超えた段階で，病院長等会議を緊急に開催の上，総合的に判断	297	21	148	フェーズ４の病床占有率が５０％を超えた段階で，病院長等会議を緊急に開催の上，総合的に判断	360	26	203				
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0				
05 秋田県	28	5	23	中等症Ⅱ以上の入院者数から総合的に判断	46	10	36	中等症Ⅱ以上の入院者数から総合的に判断	130	14	116												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
06 山形県	18	0	18	新規感染者数、病床稼働率の状況等を踏まえ総合的に判断	104	27	77																
	0	0	0		0	0	0																
07 福島県（※4）	581	28	0	病床使用率の状況等を踏まえ総合的に判断	669	39	0	病床使用率の状況等を踏まえ総合的に判断	766	46	0												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
08 茨城県	100	10	90	引上げ時：現フェーズの７０％が見込まれる場合に拡大 引下げ時：現フェーズの４０％を目安に縮小	200	30	170	引上げ時：現フェーズの７０％が見込まれる場合に拡大 引下げ時：現フェーズの４０％を目安に縮小	350	50	300												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
09 栃木県	254	24	160	感染拡大による医療逼迫時	360	29	247																
	0	0	0		0	0	0																
10 群馬県	338	9	323	入院患者数100～150人となった日	402	10	385	入院患者数150～200人となった日	443	14	420	入院患者数250～300人以上となった日	603	15	579								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
11 埼玉県	500	30	240	病床使用率が50%以上となった２週間後	1,700	50	400																
	0	0	0		0	0	0																
12 千葉県	984	71	677	病床稼働率や医療従事者の欠勤状況等を基に総合的に判断	1,297	101	878																
	0	0	0		0	0	0																
13 東京都（※3）	3,123	252	1,678																				
	0	0	0																				
14 神奈川県	1,026	86	940	フェーズ１の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日（※現在運用しておりません）	1,298	123	1,175	フェーズ２の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日（※現在運用しておりません）	1,694	164	1,530	フェーズ３の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日（※現在運用しておりません）	2,195	218	1,977								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
15 新潟県（※5）	357	37	0	フェーズ１の即応病床に対する病床使用率が50%を超えた段階で、総合的に判断	409	59	0	フェーズ２の即応病床に対する病床使用率が50%を超えた段階で、総合的に判断	529	63	0	フェーズ３の即応病床に対する病床使用率が50%を超えた段階で、総合的に判断	708	109	0								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
16 富山県	153	9	144	入院者数がおおよそ70人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	208	10	198	入院者数がおおよそ120人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	379	23	356												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
17 石川県	206	26	165	フェーズ１の病床使用率が50%を超えた場合	244	26	200	フェーズ２の病床使用率が50%を超えた場合	403	27	334												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
18 福井県（※5）	71	3	0	感染状況に応じて	158	6	0	入院患者が105人	226	13	0	入院患者が150人	311	20	0								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
19 山梨県	96	3	93	確保病床の入院患者数７５名以上	139	3	136	確保病床の入院患者数１１０名以上	239	4	235	確保病床の入院患者数２００名以上	371	5	366								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
20 長野県	222	27	96	各圏域においてフェーズ1の病床数のひっ迫が見込まれるとき	383	28	157	各圏域においてフェーズ2の病床数のひっ迫が見込まれるとき	587	33	224												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
21 岐阜県	281	43	234	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	347	45	298	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	521	49	468	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	622	51	567	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	688	51	633	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	748	59	685
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
22 静岡県	129	13	104	感染状況及び病床使用状況から総合的に判断	201	14	174	感染状況及び病床使用状況から総合的に判断	425	36	372												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
23 愛知県（※4）	1,110	114	0	感染拡大時：単日の確保病床入院患者888人以上 感染縮小時：７日間平均の確保病床入院患者888人未満	1,590	146	0																
	0	0	0		0	0	0																
24 三重県	249	41	208	フェーズ1の病床使用率40%以上となった日から14日後	401	46	355	フェーズ2の病床使用率40%以上となった日から14日後	537	50	487												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
25 滋賀県	200	25	175	フェーズ１の病床数の50%程度が利用された段階で総合的に判断	280	31	249	フェーズ２の病床数の50%程度が利用された段階で総合的に判断	340	40	300	フェーズ３の病床数の50%程度が利用された段階で総合的に判断	500	40	460								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
26 京都府	1,002	163	196	入院者数、新規入院者数等の状況を見ながら、専門家の意見も踏まえて総合的に判断	1,045	170	285																
	0	0	0		0	0	0																
27 大阪府（※6）	1,880	130	1,200	各受入医療機関において、患者動向等を踏まえ、確保病床数の範囲内で運用（府から、適宜、感染拡大・収束等の動向をもとに、フェーズ切替時期の目安を各医療機関に周知）	3,140	240	2,100																
	0	0	0		0	0	0																

都道府県名	フェーズ１			フェーズ２				フェーズ３				フェーズ４				フェーズ5				フェーズ6			
	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	うち中等症Ⅱ向け
	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分		うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分	うち旧臨時の医療施設等分
28 兵庫県	953	48	451	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,395	75	746																
	0	0	0		0	0	0																
29 奈良県	270	20	250	上り：病床使用率50%を１つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	301	25	272	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	432	30	371												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
30 和歌山県	294	8	273																				
	0	0	0																				
31 鳥取県	67	44	23	5/8の類型変更時点をフェーズ２とし、感染状況や入院調整の運用実態を踏まえ、フェーズの引下げを検討（具体的な基準値は未設定）	109	44	65	第８波を凌ぐ感染爆発等による病床逼迫時（具体的な基準値は未設定）	287	47	62												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
32 島根県	120	4	116	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	150	8	142	入院患者総数が50人となった日	200	10	190	入院患者総数が100人となった日	250	12	238	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスタの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	359	16	329				
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0				
33 岡山県	275	6	269	県内確保病床入院数が２００人を超えたとき	568	24	544																
	0	0	0		0	0	0																
34 広島県	453	22	315	新規感染者が継続的に発生	512	22	346	直近７日間の10万人当たり新規感染者数４人以上	564	24	392	直近７日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	598	26	410								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
35 山口県	175	12	163	感染状況や病床の逼迫度等を踏まえ、判断	268	21	247																
	0	0	0		0	0	0																
36 徳島県	202	7	70	感染拡大状況を踏まえて総合的に判断	252	12	95																
	0	0	0		0	0	0																
37 香川県	204	13	111	確保病床使用率が20%を超える段階	230	17	129	確保病床使用率が35%を超える段階	267	26	158	確保病床使用率が50%を超える段階	355	26	241								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
38 愛媛県	464	12	149																				
	0	0	0																				
39 高知県	117	6	111	フェーズ１の病床利用率が10%超となった場合。または7月から8月の期間。	151	6	145	フェーズ２の病床利用率が20%超となった場合。または5月から6月の期間。	178	6	172												
	0	0	0		0	0	0		0	0	0												
40 福岡県	328	61	257	入院者数95人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	491	78	403	入院者数145人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	595	90	495	入院者数180人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	802	114	678	入院者数400人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,494	132	799				
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0				
41 佐賀県	112	3	96	入院患者数が60人となったとき	160	5	140	入院患者数が90人となったとき	235	13	183	入院患者数が120人となったとき	303	32	228								
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0								
42 長崎県	297	14	142	医療のひっ迫の状況を踏まえ総合的に判断	402	14	179																
	0	0	0		0	0	0																
43 熊本県	721	39	286																				
	0	0	0																				
44 大分県	296	23	228	病床使用率概ね50%以上、発熱外来で重症化リスクのある患者がすぐに受診できない。救急搬送困難事例が急増している。（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	456	39	332																
	0	0	0		0	0	0																
45 宮崎県	108	12	95	定点医療機関からの報告数が県全体で１名以上のとき	184	14	170																
	0	0	0		0	0	0																
46 鹿児島県（※1）	45	4	29	フェーズ１の即応病床に対する病床使用率が７０%以上に達した場合 ただし，医療圏での病床使用率が５０%を目途に医療機関毎にフェーズ移行を実施	288	9	143	フェーズ２の即応病床に対する病床使用率が７０%以上に達した場合	381	12	195	フェーズ３の即応病床に対する病床使用率が７０%以上に達した場合	493	18	245	フェーズ４の即応病床に対する病床使用率が７０%以上に達した場合	593	26	304	フェーズ５の即応病床に対する病床使用率が６０%以上に達した場合 ただし，医療圏での病床使用率が５０%を目途に医療機関ごとにフェーズ移行を実施	723	32	377
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
47 沖縄県	66	7	14	入院患者が10人を超えたとき	98	9	26	入院患者が23人を超えたとき	148	10	44	入院患者が150人を超えたとき	338	22	106	入院患者が200人を超えたとき	482	27	249				
	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0				

全国計（※3）	病床確保計画	確保病床（計画）数	34,740	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	2,567	確保病床（計画）数（うち中等症Ⅱ向け）	20,110
		うち旧臨時の医療施設等分	0	うち旧臨時の医療施設等分	0	うち旧臨時の医療施設等分	0

（※1）鹿児島県は病床確保計画の最終フェーズを「フェーズ７」としている。フェーズ７への移行基準、フェーズ７における「即応病床（計画）数」は下記の通り。

フェーズ7への移行基準	フェーズ7における即応病床（計画）数	うち旧臨時の医療施設等分	うち重症者向け	うち旧臨時の医療施設等分	うち中等症Ⅱ向け	うち旧臨時の医療施設等分
フェーズ６の即応病床に対する病床使用率が６０%以上に達した場合 ただし，医療圏での病床使用率が５０%を目途に医療機関ごとにフェーズ移行を実施	747	0	35	0	378	0

（※2）「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち旧臨時の医療施設等分）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち旧臨時の医療施設等分）」の全国計については、各自治体の最終フェーズにおける数を合計している。

（※3）東京都の重症者向け病床数はオミクロン株の特性を踏まえた東京都基準（特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床及び人工呼吸器又は体外式心肺補助（ＥＣＭＯ）による管理が必要な患者用の病床又はハイフローセラピーを実施する患者用の病床）により集計したものであり、
国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は679床となる（その場合、最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で2,994床となる）。

（※4）福島県・愛知県においては、中等症Ⅱ向けの病床数は県内の医療機関と調整中のため０床としている。

（※5）新潟県・福井県においては、重症・中等症Ⅱ患者用病床は、中等症Ⅱから重症までの患者を受け入れることができる病床であるため、中等症Ⅱ病床数は重症者病床に包含されている。

（※6）大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したもの。

（※7）広島県の即応病床（計画）数、沖縄県の即応病床（計画）数について修正。（5月26日修正）

（※8）群馬県の即応病床（計画）数について修正。（6月15日修正）

（※9）広島県の即応病床（計画）数について修正。（9月6日修正）